

第2回

「比べてわかる唐沢山城」

—全国の山城と比較して—

平成29年8月6日

講師：日本考古学協会会員 ^{もてぎ}茂木 ^{たかゆき}孝行 氏

講師茂木孝行氏が語ることには唐沢山城を全国山城と比較してみて、東国には希有の遺構と織豊系の城が持つ高石垣が築かれた事です。近隣のお城から日本三大山城と肥前名護屋城、江戸城を紹介されました。一乗谷の城下町を見て、発掘調査の成果を使いながら戦国末期の城下町をみていくと、唐沢山城は東と西南の城下町を形成している特徴がある。このことは唐沢山城を理解知る事には必要ですと語った。

最後にいろいろな城跡を見た上で誰でも登れる、現在の唐沢山城の価値は佐野市生まれ育った者の視点で佐野市という地域に根差した唐沢山城への認識を再確認しましょうと、その価値判断は佐野市民の各自の判断に資すると語った。



○参加者の感想・意見について（主なもの）

- ・今日のお話は、分かりやすいお話で大変良かった。親しみが持てた。大変有意義な話し方であった。
- ・比べて分かるということで、他の城と比べてよかったですと思います。ただ初心者には他の城が多すぎてめまぐるしかった。唐沢山城からみた他の城との比較の方がわかりやすかったように思います。
- ・とても参考になりました。ハイキングがてら、家族で唐沢山に行ってきます。